

教育委員会（6月）会議録						
招集年月日	令和4年6月28日（火）					
招集の場所	白馬村保健福祉ふれあいセンター 1階 会議室					
開閉会の日時 及び宣言	開会	令和4年6月28日（火） 午後1時50分				
	閉会	令和4年6月28日（火） 午後3時45分				
出席委員	職名	氏名	職名	氏名	職名	氏名
	教育長	平林 豊	委員	西澤みどり	委員	松沢 亨
	教育長職務代理者	幅下 守	委員	田口令子		
事務局	教育課長	横川辰彦	子育て支援課長	下川浩毅	生涯学習スポーツ課長	松澤宏和
	公民館長	横川秀明	子育て支援課長補佐兼母子健康係長	内山明子	教育係長	中村由加
	子育て支援係長	松澤拓哉				

会議の要旨

1 開会

[教育長]

開会を宣言した。

2 令和4年5月定例会会議録について

異議なく承認された。

3 報告

○教育長報告

議会6月定例会が17日で終了し、すべての案件が可決承認された。

14日に図書館協議会を開催し、3年度の事業報告、4年度の事業計画等について説明した。

8月5日に、市町村と県による協働電子図書館がオープンする。長野県内に居住している人、又は県内に通勤・通学している人は、1人1回2冊、1週間借りられる。また、利用者カードの登録は、今月21日から受付を開始している。

18日に茂山狂言会を開催したところ、135名の来場者があった。

20日に白馬村PTA 連合会連絡協議会が開催され、各学校PTAの4年度活動計画、生活指導上の課題や現状について情報交換を行った。

26日に「住宅デー」の一環として、大北建設労組から学校等公共施設の修繕をしていただいた。

今年は、教職員の日常業務の多忙化の緩和と休暇取得促進を目的に、8月6日から17日までの12日間、学校リフレッシュ・ウィーク(学校閉庁日)を設ける。閉庁期間中の緊急連絡については、教育委員会で対応するが、必要に応じて校長・教頭に連絡をすることになっている。

県教委は、学校におけるマスク着用に関するアンケートを実施した。基本的な考え方としては、マスク着用は、口や鼻からのウイルスの飛散・吸入を抑制する効果があるので、基本的な感染防止対策としては重要であるが、感染リスクの低い場面では、安心してマスクを外すことができる環境を整えることも重要とのことである。

次に、高校改革～夢に挑戦する学び～再編・整備計画【三次】(案)が決定された。【三次】案では、南農・穂高商・池工を統合し、安曇野総合技術新校(仮称)の新設。学科は、農業科・工業科・商業科で、総合選択制を導入し、生徒一人ひとりの進路希望や興味関心に応じた学びを実現する予定とのことである。

○教育課長報告

6月8日から6月17日の日程で、白馬村議会第2回定例会が行われた。教育課関係では、中学校窓ガラスの修繕に係る補正予算が可決された。なお、壊れた窓ガラスは予算を流用しながら先行して修繕した。

一般質問では、加藤ソフィー議員から、児童生徒のマスク着用について質問があったが、時期を同じくして国がマスクを外していい場面を具体的に例示したので、それに伴い学校の指導状況などを教育長が答弁した。学

校では熱中症対策として体育や登下校時はマスクを外す場面として指導しているが、半数以上の児童生徒は登下校時にマスクを着用しているように見受けられる。

30日から河津東小と白馬南小の交流会が開催される。新型コロナウイルス感染症の影響で2年間交流ができず、久しぶりの交流に児童も期待をしていると思う。なお、7月には太地小と白馬北小の交流会も計画をしている。

白馬山麓事務組合議会の臨時会が27日に召集され出席した。今回の臨時議会は小谷村議会議員選挙に伴う議席の指定、議長選挙が主なもので、新しい白馬山麓事務組合議会の議長には、吉沢学小谷村議会議長が選ばれた。

給食での異物混入について、13日の給食で提供した『厚揚げとキャベツの味噌汁』の中に縦8mm、横5mmほどの水色の破れた薄いビニールのような物質の混入があった。異物が混入したクラスは白馬中1年A組で、味噌汁の食缶の蓋をあけたところ、ビニールのような物質が汁に浮いていたのを配食の児童がを見つけ担任に伝えすぐに取り除いたということである。生徒は喫食することなく幸い大事にはいतरなかった。また、ほかの食缶にも異物が混入していないか、栄養教諭が中学校の食缶を全て確認したが、異物は発見されなかった。

異物は、調理員が使用するビニール手袋ではないかと推測し、廃棄したビニール手袋を調査したところ穴が開いており、異物と一致した。また穴と異物が一致しているので、他の食缶への異物混入はないことを確認した。作業中に破損し味噌汁に混入したものと思われる。翌日に学校及び学級に調査結果を記したお詫び文を出すとともに、ミーティングで全調理員に注意点の確認と再発防止を促した。

○子育て支援課長報告

給付金事業の学生等応援給付金については、申請件数74件、対象学生数79件で、今月支給分が76件、3,800千円、来月支給が3件、150千円となっている。

6月23日に就学支援委員会の1回目を開催した。今年度は13名(保育園2名、南小1名、北小10名)がエントリーしており、小委員会を2班に分け7月に保育・授業参観を行う。

児童手当の一部改正について、広報(防災)はくばで周知している。児童手当法の改正に伴い、この6月から現況届の省略化や10月支給分(6月分)から、所得上限限度額を超える者については支給しないこととなった。

こども家庭庁について、この国会で、こども家庭庁の関係法案が可決され、来年4月からスタートする。基本、厚生労働省と内閣府の所管している部門はこども家庭庁に統一されるが、文部科学省の教育部門(幼稚園)はそのまま残ることになり、子ども政策に関する縦割り行政の弊害が残る可能性がある。

○生涯学習スポーツ課長報告

6月4日(土)からB&Gプールがオープンしている。

14日図書館協議会を開催し、3人の委員が改選となった。

15日には3年ぶりの開催となるスノーハーブクロスカントリー大会において、新型コロナウイルス感染症対策のために委員会を設けることとなり、第1回の会議を開催した。医師、看護師が加わる委員会であり、しっかりと準備していく。

23日には白馬ジャンプ競技場のFIS公認取得に向けての現地調査が行われた。FISの検査官がオーストリアから来村したが、公認取得ができる見込みである。

27日には文化庁を訪問し、令和5年度の伝建の整備事業等についての打ち合わせを県の担当者と共に行った。

28日には、日中友好協会の総会が長野市で行われ、今年10月にはノルディック複合の中国選手が白馬村でトレーニングすることとなった。

○公民館長報告

6月8日に今年度最初の文化財審議委員会を開催した。主な案件は、塩島の断層階の土地の名義変更についてである。嶺方神社の鉄澤についても今年1年かけて検討することになった。

18日に茂山狂言会を5年ぶりに開催した。

○学校の報告

6月22日の校長教頭園長合同会議で報告のあった事項を、教育係長から報告した。

○保育園の報告

6月22日の校長教頭園長合同会議で報告のあった事項を、子育て支援課長から報告した。

4 議 事

○承認第18号 令和4年度会計年度任用職員の任用について

[子育て支援課長]

しろうま保育園の延長保育士1名を任用する。任用期間は令和4年6月20日から令和5年3月31日。

・全員賛成で承認された。

○承認第19号 白馬村図書館協議会委員の任命について

[生涯学習スポーツ課長]

8名の委員の内、白馬高校から先生1名と公募委員2名が新たに加わる。任期は令和6年3月31日まで。

この協議会は複合施設に関するものではなく、通常の図書館の運営に関するものである。

・全員賛成で承認された。

○議案第27号 白馬村教育委員会文書取扱規程について

[教育課長]

この規程は、白馬村教育委員会事務局及び教育機関における文書の取り扱いに関し、白馬村文書管理規定に定めがあるもののほかに、必要な事項を定めるものである。令和4年度から適用したい。

[委員]

今までこのような文書規程がなかったから、新たに作ったということか。

[教育課長]

もともとあった村の文書規程が改正になったことから、教育委員会の文書取扱規程を新たに整備した。教育委員に配布される資料は、起案により決裁を受けているもので、原本は公文書として取り扱われる。委員がお持ちの資料の廃棄にあたっては適正に処理していただければと思う。

・全員賛成で可決された。

○議案第28号 白馬村立小中学校私費会計取扱基準について

[教育課長]

この基準は、小中学校で取り扱う公費以外の会計の事務処理のために必要な事項を定めるものである。北安曇の事務研究会において、私費会計の取り扱いを郡内で統一したソフトで行っていくということになり、この4月から実施している。統一したソフトを使うにあたり、取扱基準を定めておいた方が良いとのことから、大町市で既にソフトを使った私費会計取扱基準を定めているので、それに倣って取扱基準を定めるものである。

[委員]

今まではどうしていたのか。

[教育課長]

今までは各学校で私費会計の取扱はバラバラであり、書類の様式も異なっていたが、大北圏内の小中学校で統一し、ソフトを使うことで事務の利便性や効率化を図る。

・全員賛成で可決された。

○議案第 29 号 白馬村就学支援委員会規則の一部改正について

[子育て支援係長]

この基準は 小委員会の人数を 9 名以内から 11 名以内に改める。今年度、中学校の委員が若干増えたことに伴い、人数を増やすもので、この規則は公布の日から施行する。

・全員賛成で可決された。

○議案第 30 号 令和 4 年度白馬村低所得の子育て世帯に対する子育て世帯生活支援特別給付金(ひとり親世帯以外分)支給事業実施要綱の一部改正に対する意見について

[子育て支援係長]

前回の定例教育委員会で、この要綱策定について説明させていただいたが、その後国で改正した部分について、今回一部改正を行うものである。支給対象として、高校生等を養育する者や、政令で定める額以上の収入がある養育者が挙げられている。この 6 月から、児童手当において所得の上限限度額が導入されたことに伴い、ある一定の所得を超えた者は特例給付 5,000 円がもらえなくなり、児童手当の受給資格もなくなるというように制度が変わっている。ただし、この低所得の子育て世帯に対する給付金については、令和 3 年の所得が所得制限以上あったとしても、令和 4 年 1 月以降にコロナの影響等で収入が 0 になってしまった場合には、家計急変ということで給付金をもらえる制度になっている。この要綱の一部改正は公布の日から施行し、令和 4 年 6 月 13 日から適用する。

・全員賛成で可決された。

○議案第 31 号 通級指導教室への通級許可について

[子育て支援係長]

・通級指導教室への通級の要望があった 1 名について、説明し許可を求めた。できるだけ早い通級を希望している。

・全員賛成で可決された。

○議案第 32 号 令和 4 年度スクールバス試験運行計画について

[教育課長]

昨年、コロナで夏季運行ができなかったため、今年度も夏季の運行を計画している。ルートは概ね変わらないが、今年度変わった点として、通地区乗車を新規で追加し、山麓地区乗車を無くした。南小のルートでは、内山の 2 名をタクシーではなくバスに乗車させることに変更し、内山からめいてつまでバス 1 台で運行する。冬は堀之内・三日市場からも乗車させる。北小のルートでは、タクシーで嶺方、通・野平、和田野の 3 路線を運行する。また、大型バス 2 台でみそら野・エコーランド、マイクロバス 1 台で落倉・切久保・どんぐりを運行する。夏の発着は北小の体育館駐車場、冬の発着は、大型バスについては昨年同様に除雪基地と役場駐車場とする。夏季運行により、データを取って公共交通に反映させたいという考えがある。

[委員]

8 月の休み明けの運行はないということか。

[教育課長]

ない。予算的に 80 日間と決められているので、夏の運行期間を長くするとニーズの高い冬が短くなってしまふ。本当は、熊の出没時期である秋も運行したいところではある。熊の出没状況によっては緊急的に運行させる可能性もある。

[委員]

中学生の乗車はどうなっているのか。

[教育課長]

冬のみ落倉の生徒を乗車させる。ただし、ルートは北小までなので、北小から中学までは徒歩となる。

[委員]

南小の内山地区の子どもは長い時間バスに乗ることになるが、了承しているのか。

[教育課長]

めいてつ地区の子どもから乗車させることも考えたが、多くの子どもが長い時間バスに乗ることになるので、影響の少ない方を選択している。

[委員]

バス運行時には遠距離通学費は支出されないということか。

[教育課長]

そうなる。日割りで遠距離通学費は算出される。

[教育長]

今年も試験運行である。今年度開催される公共交通会議において、バス運行に関する方針が決まれば良いと思っている。

・全員賛成で可決された。

5 その他

(1) 学校のあり方検討に関するアンケートについて

[教育係長]

白馬村学校のあり方検討委員会から昨年 11 月に答申をいただいているが、その中で学校のあり方について村民対象にアンケートを実施し、広く意見を集約してほしいという要望があった。今年の 8 月～10 月にアンケートを実施し、そのアンケート結果を踏まえて 11 月に総合教育会議を行い、教育基本計画の策定を来年以降行っていく見通しでいる。アンケートについては、保護者、教員、子ども対象の 3 パターンを今回作成したので、内容等をご覧いただきご意見をいただきたい。次回の定例教育委員会で、また取り上げる。

[教育長職務代理]

アンケートを実施して総合教育会議等で方向性を決める前に、アンケート結果を踏まえた上でもう一度地域の方々の様々な意見を聞くことや懇談会等を行うといったプロセスを踏まないという見通しか。

[教育課長]

アンケート結果や総合教育会議での協議等を踏まえた上で基本線をまず教育委員会で作成し、その基本線について、村民や地域の方々の意見を伺うという計画である。

[委員]

基本計画策定(案)ができて、その中で小学校を 1 校に統合する方向になったときに、例えば学校跡地を図書館等複合施設の用地にする等の話し合いを一緒にできないかを感じる。教育委員会の中でも縦割りになっていて、施設の建設等についてそれぞれの担当課で検討をしているが、教育委員会の中で総合的に考えられたら良いと思う。

[教育長]

本村の教育振興に関する施策の総合的・計画的な推進を図るため、教育振興計画を策定する予定である。

[教育課長]

県の教育振興基本計画が見直されていて来年度新しくなるので、その内容も踏まえて白馬村の基本計画も作成していくことになる。

[子育て支援課長補佐]

子どもが生まれたばかりの方やこれから子どもが生まれる方の意見も聞いた方が良い。

[教育係長]

その方たちは、一般村民を対象とするアンケートの中で抽出して実施する予定でいる。

[委員]

資料にある子どもの人数の推計から見れば、複式学級になる可能性は少ないが、今後激減すれば可能性はゼロではない。あくまで推計値として少子化に係る資料を示さざるを得ないということであるが、この推計値からすれば複式学級には当分ならないという解釈で良いか。

[教育課長]

社会増減が読めないなので、自然数のみの推計値となっている。

[教育長職務代理]

県が複式学級を推奨する方向に変わってきているので、複式学級の基準が変わればわからない。

(2)白馬村小規模保育事業設置・運営事業者募集について

[子育て支援課長]

現在、ホームページに掲載して募集している。小規模保育事業施設は 3 種類あって、募集対象施設は、基準が一番厳しい A 型になる。定員は 19 名、対象児童は 0 歳児から 2 歳児。開設時期は令和 5 年度中とし、募集施設は 1 施設。応募資格の事業者の要件としては、保育所、幼稚園、認定こども園、小規模保育・家庭的保育、認可外保育を運営している事業者となる。白馬村で認可外保育を運営している 3 事業所の内、今回対象となるのは「マイマイ」である。その他に運営面で開所時間や開所日、職員配置等について条件が定められているが、特に職員配置等で常時保育士を相応の人数確保しなければならない条件となっている。参入にはかなり実績のある事業所でなければ難しい。施設の建設にあたり、国から補助金が交付されるが、前回の定例教育委員会で説明した保育所等施設整備事業補助金交付要綱を用いて交付する。選定スケジュールとしては、現在募集期間で質問受付期限が 8 月 5 日、応募申請書の提出期限を 9 月 2 日としている。審査は 9 月 26 日で、審査結果の通知は 9 月 28 日以降である。選定方法は、村の補助金等審査委員会で審査し決定する。

[委員]

問い合わせはあるか。

[子育て支援課長]

問い合わせは 5 件あるが、実際に申し込みするのは 2 件程と見ている。スケジュール的には、正式に決定するのが秋頃なので、実際には施設の建築は翌年 4 月からでないといけないが、それまでの準備を 4 月までにしていただく。

(3)第 25 回白馬スノーハープクロスカントリー大会について

[生涯学習スポーツ課長]

7 月 23 日・24 日に 3 年ぶりの大会として、個人・駅伝競技を実施する。現在のコロナレベルは 1 であるが、感染対策のため、開会式は行うものの挨拶はなし、記録証はオンライン配布、表彰式は行わない等の対応とする。今回表彰式もないのでプレゼンターもなし。

[教育長]

出場人数は。

[生涯学習スポーツ課長]

今年は少ない。例年 2,000 人程のところ、1,600～1,700 人程度。

[委員]

観戦は誰でもできるのか。

[生涯学習スポーツ課長]

競技役員は 1 週間の健康観察をしてもらう。会場で検温はするが、観客については対応を検討中。決まればホームページ等で周知する。

(4)「二十歳の集い」、「土を喰らう十二か月」上映会について

[公民館長]

これまでの成人式に代わる「二十歳の集い」を 8 月 15 日 10 時からウイング 21 にて開催する予定である。式典については例年通り来賓を呼んで行う予定で、実行委員会によるイベントについては検討中である。対象者は 80 名弱程度で、現在出欠を確認している。

また、水上勉原作の「土を喰らう十二か月」の映画が完成し、11 月 11 日に全国公開が決定した。これに先立ち撮影場所となった白馬村での先行上映会を 8 月 21 日に行うこととなった。監督の舞台挨拶もある。1 年半にわたる村内の撮影で、エキストラとして参加している村民の方もいるので、多くの方にご覧いただきたい。

(5)7月の日程について

次回定例会は、7月25日(月)午後2時から。

(6)その他

[委員]

B&Gが10年連続で特A獲得ということで、補修の予算が付くと伺っている。プールは劣化が進み、鉄骨の錆や地震による歪みがあるので、大規模修繕を検討してもらいたい。

[生涯学習スポーツ課長]

これから見積発注し、改修に向けて準備を進める。来年度予算化して実施したいと考えている。

署名欄	
教育長	
教育長 職務代理者	
委員	
委員	
委員	